

## 第一号議案

### 平成29年度 特定非営利活動法人 もちもちの木 活動報告

平成28年度で今後の方向や目指すべき課題の形が見え始めた土台を安定させ強化していき、誰が見てもわかるように見える化した仕組みを試行錯誤で取り組み、マニュアル等の文章化の準備が整った。

地域コミュニティ事業がダイレクトに地域と連携し、将来誰にでも必要となる介護に関心を持ってもらう企画を提供するために外部の地域活動者と協力をはかり実施した。そして世代を超えたつながりが地域のセーフティネットとなるように「my コミュニティ」「人の縁という財産」をつくるために土橋町内のソーシャルブックカフェ「ハチドリ舎」で20代～40代へのアプローチも定期的に実践できた。

①28年度の職員のインタビュー分析から各事業所と地域コミュニティ支援事業部で組み立てたアクションプランを28年度は各事業所で実行し成果が上がり増収増益となった。

それを受けて29年度は引き続きアクションプランを継続して取り組み基盤強化をはかった。

その結果として各事業も増収増益となり経費も全体的にはバランスが保てた結果となった。

人材育成に関して個別評価制度に介護プロフェッショナルキャリア段位制度の根拠ある評価の手法を学び活用を試る。評価者としての能力の向上が課題となった。

平成30年から3年間の方向を明確にした中期計画を立てるためのデータ分析を行った。

②キャリアパスの継続と、職位・職責・職務内容、昇給を判定する仕組み、賞与査定の仕事の取り組みをスタートさせたが仕組みを確定し具体的な文章化の準備が整った。

③地域コミュニティ支援事業部のマーケティングを強化するために、地域住民がもちもちの木の応援団となり、地域コミュニティ支援事業部で実施する地域活動への参加者を増やすことができた。講演会、名刺交換した方、会費、寄付をいただいた方に必ず広報紙、賛助会員募集のチラシとお礼の手紙を書いて送付をおこなった結果、賛助会員 63名→114名（平成29年度）となった。法人内での地域の集いへの参加者は延べ10,000人を超えた。

現在、広島市高齢者いきいき活動ポイント事業に申請している活動団体は18団体ある。

④医療との連携を強化するために、医療関係者向けの広報活動を強化する。医療連携先を増やしていく。担当者会議や事例検討会などでも医療関係のつながりが増えており情報共有できるためには能力の必要性を感じた。

⑤ホームページやフェイスブックを十分に活用し集客に努めた。認知症カフェでは助成金を活用し当事者の集いなど積極的に開かれた社会参加の場を創った。

年2回定期発行している広報紙「もちもちの木 smile」を、地域活動者を通して広く配布、職員からも地域や友人へ配布協力要請を行い3,000部配布した。

## 1. 会議

### (1) 第16期通常総会

平成29年5月27日(土) 18:00~21:00 広島市まちづくり市民交流プラザにて  
出席者 計64名(職員含む)

### (2) 理事会

- 【第1回】平成29年9月7日(木) 18:00~20:30 庚午のおうちにて 3名  
・広島銀行コンサルティングのアクションプラン進捗状況、法人経営について
- 【第2回】平成30年3月26日(月) 18:00~18:30 庚午のおうちにて 3名  
・平成29年度の見通し報告・平成30年度事業の方向

### (3) 管理者会議

理事長、副理事長、総務、各事業所管理者、広島銀行コンサルティングサービスの担当者が毎月第3火曜日に会議を開催し、各事業所の月次収益・稼働率、人事労務・安全衛生等について協議・情報共有を行った(計11回開催)。

### (4) 経営会議

各事業所管理者が毎月第1木曜日に会議を開催、事業所運営の課題について検討を行った(計10回開催)。

### (5) 法人全体会議

- 【第1回】平成29年9月7日(木) 18:30~20:00 庚午のおうちにて  
・広島銀行コンサルティングのアクションプラン進捗状況、法人経営について  
広島銀行 久保尚史 様
- 【第2回】平成30年3月26日(月) 18:30~20:00 庚午のおうちにて  
・平成29年度の見通し報告・平成30年度事業の方向  
・アセッサー制度の個人評価と配分金額予測  
・介護報酬改定について(平成29年度キャリアパス研修に充当)

・パワハラアンケート結果を踏まえたハラスメント研修実施予定について

(6) 評価制度検討委員会

【第1回】平成29年11月6日(月) 17:30～ 土橋のおうちにて

【第2回】平成29年11月21日(火) 17:30～ 土橋のおうちにて

【第3回】平成29年12月12日(火) 14:30～ 古田のおうちにて

理事長、副理事長、管理者、リーダー、アセッサー、総務人事担当者、広島銀行コンサルティング担当者、藤川税理士で「介護プロフェッショナルキャリア段位制度(アセッサー制度)」にもとづく評価制度の導入について議論した。

その後、職員への説明会を実施し平成29年3月に試験的に自己評価・管理者面談および評価を実施した。

2. 介護事業

(1) 土橋のおうち

◎グループホーム土橋のおうち(定員9名)

入居状況(H30.3.31現在)

入居者 9名(女性7名、男性2名 平均年齢 83.3歳)

介護度	人数
要介護1	0
要介護2	4
要介護3	1
要介護4	2
要介護5	1

月	入居者(人)	空室	入院
4月	8	1	0
5月	9	0	0
6月	9	0	0
7月	9	0	0
8月	9	0	0
9月	9	0	0
10月	9	0	0
11月	8	1	0
12月	7	2	0
1月	9	0	0
2月	8	1	1
3月	9	0	0

グループホーム土橋のおうち

入居状況(平成30年3月末現在)

平均要介護度 2.7

#### 居室の空き期間

4/1～5/5 11/24～12/20 12/21～1/3(二部屋) 1/5～1/14 2/6～2/28 計 123 日間

#### 入院期間(延べ日数)

2/5～2/28 計 23 日間

カンファレンス 毎月定期開催(5/15 6/12 7/14 8/18 9/14 10/19 11/16 12/15 1/17 2/14 3/12 4/19)

運営推進会議 奇数月の2か月に1回(5/27 7/28 9/29 11/24 1/26 3/30) ※5月は総会を兼ねて

参加者:「認知症の人と家族の会」県代表 村上様、国泰寺地域包括支援センター、土橋町町内会 永谷様 日下様、田丸様 成年後見人 北島様 成年後見人 奥谷様 広島中消防署、当法人理事長、管理者 リーダー

研修 キャリアパス研修、法人研修は研修報告参照  
事業所別研修(身体拘束研修) 2/9 3/9

#### 行事

平成29年 4月 ドライブ(4/4 4/11 4/18 4/25)  
お好み焼きを食べに行く 3名  
5月 フラワーフェスティバル見学  
ドライブ(5/2 5/23)  
6月 ドライブ(6/6 6/13 6/20 6/27)  
7月 ドライブ(7/11 7/18 7/21 7/25)  
8月 本川小学校 盆踊り 5名  
9月 ドライブ(9/12)  
消防訓練(9/29)  
10月 ドライブ(10/24 10/31)  
菊花展 5名  
11月 浜恵比須神社秋祭り 5名参加され、餅入りぜんざいを召し上がる  
12月 東京大衆歌謡楽団コンサート 2名  
お好み焼きを食べに行く 2名  
平成30年 1月 初詣 浜恵比須神社 1名 榎町恵美須神社 6名  
護国神社 5名  
3月 花見(3/26) 平和公園でお弁当を食べる  
消防訓練(3/30)

### 【平成 29 年度事業所の活動方針】

家族が面会に来やすい雰囲気を目指す！  
利用者様、職員が楽しく、笑顔あふれるおうちを！！  
稼働率 98% 待機者 15 人の維持

### 【平成 29 年度事業所目標】

- ①家族が面会に来やすい雰囲気  
家族参加のレクを計画  
専門用語は使用せず、わかりやすい言葉で質問や、近況状況を伝える
  
- ②情報共有  
カンファレンスに参加する理由  
記録について研修、形式見直し  
議事録の担当  
申し送りの時間短縮（体・活動・受診結果・変更を申し送る）  
業務日誌に異常などを記入し、パート、日勤者への情報の共有
  
- ③業務・環境・職場改善の見直し  
利用者様に合わせた職員の動員、業務改善  
入浴時間の自由化（火曜日）  
導線を確保しつつ、自由に座れる、ゆったりできる家具、場所を確保  
対面キッチン、事業所の狭さからのストレス軽減、リビング窓ガラスの変更、  
トイレのプライバシー確保

### 【活動報告】

今年度は、施設で看取りをさせていただいた方が 1 名、病院に救急搬送されるも亡くなられた方が 1 名あった。時期的にも重なり、二部屋の空室になる事もあった。又、圧迫骨折による 1 か月の入院もあり、平均稼働率は 96.3% であった。新入居者様は、マンションで独居の女性が虐待を受けている疑いがあり、緊急入居を含め 3 名あった。看護師が 1 名入職し、医師との連携、介護職への専門的な指導を受ける事が可能となり、利用者様にも御家族様にも、医療的面で少しは安心して頂けるグループホームになれる事を目指したが、家庭の事情で退職。以前のようにデイサービスの看護師や訪問看護に指導を受ける状態に戻っている。又、職員の他事業所への異動、管理者の退職と職員の変動があった。運転できるスタッフがなくなり遠出の外出が難しくなったが、少ない人員でスタッフ同士が協力しあい、できるだけ利用者様の要望に応えられるように努めた。初詣、花見、古田のおうちでのカラオケ、境町の歌声喫茶、懐メロコンサート、浜恵比寿まつりや亥の子まつりと地域交流にも力を入れてきた。又、日々の散歩や買い物等個別ケアは継続して行っている。2 月より全館禁煙とするために、1 名の男性喫煙者の方の協力を得ながらスタッフ一同が情報を交換し合い、統一した対応をする事で禁煙に成功した。

昨年度の事業所目標の御家族の面会も増え、毎日の個別ケアで利用者様の笑顔をたくさん見る事が出来た。稼働率と待機者 15 人の維持は出来なかったが、環境の改善も計画中で、利用者様が狭いリビングでもストレスを感じない場所になるようにしたい。

## ◎認知症対応型通所介護（共用型）（定員 3 名）

### 報 告

人員不足、利用希望がない為、今年度も稼働していない。

## ◎デイサービス土橋のおうち（定員 13 名）

【事業所目標】 質の向上と効率化をはかり適切な運営基準を理解する

### 【活動計画】

- ①利用者の本当の希望・必要なケアを常に考えられる職員となる
  - ・柔軟性のある観察力で得た情報をSOAP方式で経過記録に記入していく
  - ・利用者に関わる人との対話を促進し、情報を共有する
- ②知識と業務改善、情報共有のための隔週MTGを実施
- ③登録者30名、機能訓練5名/日稼働率70%を安定させる
  - ・デイサービスの好事例を体系づけプログラムとしてアピールポイントにしていく。
  - ・アピールポイントが明確なパンフレットの作成
  - ・地域関係者に広報活動を依頼していく
- ④地域包括ケアの拠点となる
  - ・介護が必要になる前に将来に備えておくことを地域住民とともに学び実践していく
  - ・介護を地域で支える地域介護支援者を増やしていく
  - ・地域コミュニティ支援事業部と連携し協力し合う

### 【振り返り】

- ①SOAP方式を用いての記録の定着はできていないが、日々の業務を行ううえで、スタッフ間で記録をする重要性の理解が深まり、利用者の状態、様子を記録することが習慣化することができた。ケアに根拠のあるSOAP方式を用いた記録がかけるよう勉強会を行う。  
担当者会議出席時連携ノートの活用を推進した。他事業者との情報の共有が明確化され、排泄のコントロールや、在宅での環境調整などができるようになった。
- ②スタッフの独自の視点から利用者の現状や、職場の問題点が明らかになった。  
その都度共通の認識が持てるようになり、評価、修正も容易になった。  
コミュニケーションも深まり声を掛け合い、助け合いながら仕事ができるようになった
- ③登録者 計22名（平成30年3月31日現在）

機能訓練実施利用者 平均7名/日

稼働率 平均56.7%

今後介護報酬改定に伴い、マニュアルや評価記録の見直し等を行っていく

\* 事業所別研修

実施日	研修名	参加者
7/7~7/8	おむつフitter 2級研修 A講座 主催：(株)はいせつ総合研究所	1名
8/4~8/5	おむつフitter 2級研修 B講座 主催：(株)はいせつ総合研究所	1名
11/18	高齢者の特徴的な病態と予測される変化 主催：広島県看護協会	2名

(2) 古田のおうち

◎グループホーム古田のおうち (定員9名)

\* ケア理念 (グループホーム古田のおうち)

「ありのままのあなたを受け止めて、そっと寄り添う」

【平成29年度事業所目標】

「暮らしの中で、みんなで助け合い、その人の心地よい居場所を作り出す」

\* 平成29年度活動計画

- ①メンバー個々のスキルアップ、柔軟なチーム力を強化する
- ②環境改善
- ③アクションプランの実行

\* 活動内容報告

- ①入居者の介護度が重度化し、「お一人ずつの体を守る」力を養い、チームケアを目指した。生活面の支えの食事、排泄、睡眠へのケアが中心として、勤務の引き継ぎ時や定例の部会で「実行、評価、再プラン」を深め、次へのケアへ繋ぐ時間を持つ。  
「自分の強みをアピール、弱点を他職員の得意分野から盗む」ことで、個人の学びとした。

メンバー間全員で入居者の生活を支える意識を作りだした。

職員の補充が進まず、管理者が兼務や派遣職員の契約での職員確保とした。

## ②環境改善

労働安全衛生法を遵守し、新規エアコンの設置、脱衣室の床、洗面台のリフォームを施行し職場、生活環境の改善を図ることができた。玄関の看板を設置した。

## ③アクションプランでは稼働率 98% 待機者 7名の維持を挙げた

入院 2名 空室 12/9-22, 1/25-3/7 稼働率 98, 4% 待機者 現在 10名

## \* 入居状況

介護度	人数
要支援2	0名
要介護1	1名
要介護2	1名
要介護3	3名
要介護4	1名
要介護5	3名

平成30年3月現在

月	入居	空室	入院
4月	9	0	
5月	9	0	
6月	9	0	
7月	9	0	
8月	9	0	
9月	9	0	
10月	9	0	
11月	9	0	
12月	9	0	1
1月	9	0	1
2月	8	1	
3月	9	0	

今年度は、入所1名、退所1名、入退院2名と、比較的安定した1年だった。

## \* 行事、外出

4/7 花見食事会 ご家族6名の参加

4/14 桜見物ドライブ 5名

8/19 夏祭り ご家族8名ゲスト1名 職員8名

9/15 お抹茶での茶会（敬老の日にちなんで）

10/20 秋の散策 LECT 外出 5名 家族4名参加

11/26 家族会 昼食をはさみ スライドで生活の様子を紹介、家族ごとの自己紹介

入居者9名 家族16名（うち子供1名）職員10名

1/1 古田のおうち風正月おせち料理



## 2/3 節分行事

\* 定例部会 12 から毎月第 1 金曜日開催

4/11 5/9 6/13 7/11 8/8 9/12 10/10 11/10 12/1 1/5 2/2 3/2

\* 運営推進会議

4/19 5/27 8/23 10/18 12/20 2/21

\* 事業所別研修

実施日	研修名	参加者
4/20	防火訓練（第 1 回）	4 名
8/26～	介護支援専門員更新研修 計 8 回	1 名
10/30	防火訓練（第 2 回）	5 名
1/31	広島市高齢者虐待防止研修会 主催：広島市	1 名
3/15	施設サービス計画研修「最期まで口から食べるために 摂食から嚥下まで」	1 名

## ◎デイサービス古田のおうち（定員 13 名）

【平成 29 年度事業所目標】

1. 私たち
  - ・統一した情報を共有する
2. 経営
  - ・平均稼働率 80% 登録者数 25 名
3. 地域
  - ・古田のおうちを知っていただく

\* 活動内容報告

### ① 朝のショートミーティングが定着し

職員全員がミーティングの司会を勤めることで意識的に職員間の声かけが出てきた。送迎時の申し送りや昨日の特変など日々の情報の共有ができた。利用者の排便にかかる情報の共有を行うことで多職種との連携がとれ結果的に利用者の適切な排便のコントロールに繋がっている。

毎月のミーティングでは職員の発言が増え、お互いの意見を尊重できるようになってい

る。

洗面台に鏡を設置することで職員が自分の表情の確認をしている。業務中は利用者だけでなく職員同士も笑顔や挨拶ができるよう努力した。

② 平均稼働率 72% 登録者数 23 名

稼働率・登録数は目標には届かなかったが売上高は増加してきており機能訓練加算の算定をスタートさせた。

コミュニティ支援事業であるもちもちオレンジカフェ参加者より 1 名・地域食堂から 1 名のデイサービス登録者あり。

節約に関しては不在時の事務所や地域交流スペースの照明を消し、エアコンを小まめに調節。消耗品、日用品は単価を見直し業者を検討した。

職員の残業に関しては職員不足のため時間外が増加。その分わずかな時間でも休憩時間をもてるように業務の改善を図っている。

③ 昨年度から始まった「高齢者いきいき活動ポイント」事業に「地域食堂」「もちもちオレンジカフェ」を申請。

\* ミーティング

4/13・5/25・6/22・7/29・8/24・9/25・10/19・11/16・12/21・1/18・2/22・3/15

\* 運営推進会議

8/23・2/21

3. 地域コミュニティ支援事業
-----------------

(1) 土橋のおうち

◎よぼうの秘密ランチ会（デイサービス土橋のおうち）

毎月第 4 火曜日 11:30～14:00

計 11 回開催 参加者数：延べ 155 名

介護予防の情報提供や介護家族の気軽な相談窓口となるよう、デイサービス土橋のおうちが定休となる火曜日（第 4 のみ）に開催している。土橋町町内会のネットワークを活用し、町内の高齢者に声をかけて参加を促すことで地域包括支援センターとの情報共有にもつなげている。

また 50 代～60 代の家族介護者世代も定着し、月 1 回の情報交換を楽しみにされている。

	開催日	メニュー	テーマ	参加者
--	-----	------	-----	-----

1	平成 29 年 4 月 25 日	『春のお野菜膳』	“5月病”予防	19 名
2	平成 29 年 5 月 23 日	『高野豆腐の唐揚げ』	紫外線ダメージ予防	17 名
3	平成 29 年 6 月 27 日	『豚肉の三色ソテー』	むくみ予防	16 名
4	平成 29 年 7 月 25 日	『ゴーヤーチャンプルー』	夏バテ予防	11 名
5	平成 29 年 9 月 26 日	『ひじきと豆腐のハンバーグ』	貧血予防	10 名
6	平成 29 年 10 月 24 日	『ししゃもの南蛮漬け』	骨粗しょう症予防	10 名
7	平成 29 年 11 月 28 日	『車麩のフライ』	筋力低下予防	10 名
8	平成 29 年 12 月 26 日	『鶏肉の塩麴漬け焼き』	冷え性予防	12 名
9	平成 30 年 1 月 23 日	『オイルサーディン料理』	“脳力”低下予防	15 名
10	平成 30 年 2 月 27 日	『鮭のきのこあんかけ』	身体の酸化予防	20 名
11	平成 30 年 3 月 27 日	『鶏ムネ肉のにんにくパン粉ソース』	認知症予防	15 名
				参加者数延べ 155 名

### ◎もちもちカフェ（認知症カフェ）

毎月第 4 木曜日 13:00～16:00 ※後掲資料参照 13 回実施 延べ 203 名

- ・ 広島市中区認知症支援推進員、国泰寺地域包括支援センター、土橋町内と協力し、認知症の気軽な相談窓口として運営した。
- ・ 認知症当事者介護家族、認知症当事者、地域住民と地域の Dr、調剤薬局、作業所管理者等の専門職が緩やかにつながり、地域包括ケアのプラットフォームをつくることができた。
- ・ 13 名までしか座れない小さなスペースだが様々な相談に対応できた。当事者から直接連絡があり参加された方やご家族、地域住民、専門職とバランスがとれていた。

### ◎cotocoto@（ことこと@） ハンドメイドブランド

毎週月・木 13:00～15:00

- ・ 古い着物や帯の生地を手縫いの技術でリメイクしたクッションを中心に販売。
- ・ 地域住民が定期的に参加され、利用者の目も楽しませてくれるようになった。
- ・ 計 52 回実施、延べ 31 名が参加した。

### ◎手話サロン

- ・ 毎月 1 回 土曜日 15:00～16:00
- ・ 計 12 回開催 参加人数 延べ 38 名
- ・ 講師：玉緒さん〔子どもの頃、はしかで聴覚障害になった。手話は 20 歳以降に取得〕
- ・ 昨年同様の内容で前半は指文字や知りたい手話、後半はももたろうの話を毎回練習している。

参加者は3～7名で開催。

#### ◎よるの町内会（プロジェクトCと共同開催）

・5/13開催 テーマ「やまとことば コトタマの力」 参加人数18名

#### ◎住民参加型生活支援サービス「ふれ愛 たすけ愛 プロジェクトC」

設立4年目を迎え、広島市生活支援事業の補助事業の実施団体に登録されている。今日まで利用された方はまだわずかだが、スタッフとして貴重な体験をさせていただき、活動する上での道しるべとなっている。

#### ◎実費ヘルパー事業

専従職員1名の退職にともない事業休止している。

### （2）古田のおうち

#### ◎多世代寺子屋ネットワーク

※後掲資料参照

#### ◎地域食堂（デイサービス古田のおうち）

延べ利用者数 661人

「高齢者いきいきポイント事業」に登録。

利用者の高齢化や介護保険事業への移行があり利用者は減少傾向であるがデイサービスと併用してこられている方も居られる。

法人内のグループホームの利用者も楽しんで地域の方との交流ができています。

また、地域食堂に来られている方の体調や日常生活での困りごとなど気軽に相談していただけるように日ごろから地域包括支援センター、民生委員とも情報のやりとりをしている。

#### ◎もちもちオレンジカフェ

平成29年4月～平成30年3月 12回 延べ利用者数99人

毎月第4火曜日 14:00～16:00開催

地域のご夫妻が数組、定着し来られるようになり、繋がりができる。

お茶を飲みながら当事者・家族が気軽に相談や情報収集ができた。

10/22、若年性認知症の本人・妻と供に「ラン伴」参加。雨天ではあったがチーム「もちカフェ」として完走。

カフェで繋がった方たちが自主的に交流会をさしている。（ボーリング・カラオケ・忘年会等）

### ◎古田ママの会

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 11 回（8 月休み）利用のべ数、ママ 72 名（子ども 62 名）

対象：未就園児とママ&プレママ 日時：毎月第 2 金曜日 10 時 30 分～11 時 45 分

平成 23 年 1 月から始まり、8 年目。

親子で楽しめる企画や、子育てに役立つ学びの講座も企画した。

4 月から順に、お茶会・アロマスプレー作り・親子コミュニケーション講座（託児所付）・水遊び&すいか割り・読み聞かせ・親子ヨガ・家事が楽しくなる講座・クリスマスコンサート・新年会（おぜんざいクッキング）・親子コミュニケーション講座・防災講座を開催した。内容によっては、古田のデイサービス利用者、グループホームの入居者、地域の方も一緒に参加していただいた。

### 古田のおうち地域交流広場 活動団体一覧(平成 30 年 3 月 31 日現在)

内容	開催日	開催時間	回数	参加延べ人数
古田ママの会	第2金曜日	11:00～13:00	10回	118人
地域食堂	毎週月木曜日	11:00～13:00	48回	654人
笑いヨガ タッピングタッチ	第4火曜日	11:00～12:00	12回	48人
もちもちオレンジカフェ	第4火曜日	14:00～16:00	12回	240人
参加延べ人数 計1,060人				

### 自主活動グループ

内容	開催日	開催時間	回数	参加延べ人数
歌のサロン 音連れ	第1・3金曜日	13:00～15:00	20回	410人
ふれあい交流会「いろり」	第2火曜日	11:00～14:00	11回	271人
子どものアトリエ	第2・4金曜日	15:00～18:00	19回	160人
カフェ 万葉の和	第3土曜日	11:00～12:00	12回	240人
古江新町町内会	第1土曜日	10:00～12:00	10回	106人
多世代寺子屋ネットワーク 定例会議※	第2金曜日	18:30～21:00	80回	4038人
シニアパソコンサロン(もちもち パソコンくらぶ)	第4水曜日	14:00～15:30	6回	34人
参加延べ人数 計5,259人				

### (3) 庚午のおうち

### ◎多世代シェアハウス 庚午のおうち

入居者 計5名

(60歳代：1名、50歳代：1名、30歳代：1名、20歳代：2名)

1空室(平成30年3月現在)

### ◎もちもちの木 オープンスペース 「もちもちの子こうご」

平成29年4月～平成30年3月 41回 利用のべ数 親子334組(子ども373名)

対象：未就園児とパパママ&プレママ 日時：毎週月曜日10時～14時(祝日休み&臨時休み有)平成28年1月にスタートして、3年目。

現在、毎回10組前後の親子でにぎわっている。7月には七夕飾りをしたり、夏には中庭で水遊び、そうめん流し、夏野菜の収穫。10月にはハロウィン、11月には地域の方と一緒にお掃除、12月はお餅つき・クリスマスコンサート、2月には子供服のフリーマーケットなどのイベントも開催した。

### ◎庚午カフェ

第1, 3火曜日11時～14時 会費700円 ボランティアが手作りの昼食を提供している。29年度は開催21回、参加延べ人数、708人が参加。毎回35人前後が昼食を食べながら集うサロン。ラジオ体操から始まり、プチ手話教室、漫談法話、オカリナ演奏、バイオリン演奏、健康教室、笑いヨガなどを企画した。

地域の方の要望を聞かせてもらい、住民主体のコミュニティの場として定着してきている。

### ◎健康マーじゃん

「庚午のおうち」の近所の80代の女性から、認知症予防にマーじゃん教室を開いて欲しいと要望があり、平成25年5月に「飲まない、吸わない、賭けない」をモットーに発足した。

第1, 3, 5の水曜日13時～16時 会費300円(フリードリンク付き)

29年度の参加延べ人数は800人で、毎回35名の参加がありマーじゃん台を8台セッティングしている。男性が半数以上占めており、今後も増える見込みがあるので、毎回配置を考えている。

### 庚午のおうち 地域交流広場利用集計

団体名・活動名	活動回数	参加延べ人数
庚午カフェ	21	708人
健康マーじゃん	26	800人
ホリスティック・ヨーガ	17	59人

イングリッシュスクールココロ	82	1252人
MMSJイングリッシュ	22	259人
多世代寺子屋（よるのちょうない会）	11	177人
カラーレッスン	2	9人
その他	5	92人
もちもちの子 こうご ※法人事業	40	857人
合 計	226	4,213人

※多世代寺子屋ネットワークの活動報告は末尾に別途添付する。

### ◎たぬき倶楽部

昨年総会で認知症当事者発信の団体（全国で3例目）として設立宣言を行ったのち、世話人を募り12名でディスカッションを繰り返した。活動理念を啓蒙していくチラシやキックオフイベントを企画実施し84名の参加があった。

9月より毎月一回の定例会を開催し、無理のない交流の場の提供を行った。参加延べ62名

## 4. 総 務

### \* 仕事と家庭の両立支援

平成30年3月付で一般事業主行動計画を策定、「広島県仕事と家庭の両立支援企業」登録を更新した。

### \* 求人活動

国内全体の労働者不足と同時にハローワークに登録する求職者も激減する中、前年度に続きハローワーク主催の面接会を通じて職員1名を採用することができた。このほか現職職員の紹介や利用者様の紹介で入職するケースもあった。

広島県「わーくわくママサポートコーナー」の職場体験事業に参加、古田のおうちで2名のインターンシップ生を受け入れ、うち1名を採用した。

また、人材確保の新たな分野として「文化活動支援員（クリエイター・ケアワーカー）」の求人を募ったところ、職員2名を採用することができた。

法人全体の離職率は昨年度の40%から26%と大幅に減少し、職場環境改善等の成果が表れている。

それでもカバーできない人員不足に対応するため、人材派遣会社からの派遣職員を初めて導入した。

- ・平成 29 年 12 月 18 日 ハローワーク広島東「福祉の職場説明会・面接会」参加  
※説明会参加者がいなかったため中止
- ・平成 30 年 2 月 5 日 ハローワーク広島東「福祉の職場説明会」参加  
グループホーム土橋のうち：1 名採用

平成 29 年度 採用実績

採用面接実施	採用	年度内の退職者
19 名	6 名	1 名 (内数)

平成 29 年度 離職率

		在籍者数 H29. 4. 1	退職者数 H29 年度	離職率
グループ 土橋	正・短正	5	1	20%
	パ・嘱	5	1	20%
	計	10	2	20%
デイ 土橋	正・短正	1	1	100%
	パ・嘱	9	2	22%
	計	10	3	30%
グループ 古田	正・短正	6	0	0%
	パ・嘱	2	1	50%
	計	8	1	13%
デイ 古田	正・短正	4	1	25%
	パ・嘱	7	3	43%
	計	11	4	36%
その他	正・短正	2	0	0%
	パ・嘱	2	1	50%
	計	4	1	25%
法人合計		43	11	26%
(平成 28 年度法人合計)		(43)	(17)	(40%)

\* 産業医の事業場訪問・意見聴取

【第 1 回】平成 29 年 8 月 1 日 (火) 土橋のうち



特定業務従事者（夜勤者）健診結果の意見聴取 13名、職場環境チェック

産業医：松山須美子 先生

【第2回】平成30年3月5日（月） 土橋のおうち

定期健診結果の意見聴取 21名、職場環境チェック

産業医：佐久間和代 先生

\* 広島銀行コンサルティング

—昨年度策定した各事業所アクションプランを実践した結果、職員にもコスト意識が浸透し収支が改善されてきている。

広島銀行の担当者が毎月1回管理者会議に参加され、アドバイスや情報提供をいただいた。

5. スタッフの参加・派遣、見学、研修等
----------------------

(1) スタッフの参加

A. 土橋・本川地域の活動への参加

法人として土橋町町内会役員（会計）を担当し、町内会行事に積極的に参加した。

実施日	内 容
4/23	土橋町町内会総会
6/24、9/30、10/26	土橋町町内会役員会
7/11	第3回ふれあい講座「ウンチは健康のバロメーター」 講師：広島ヤクルト販売(株)管理栄養士 菖蒲田彩美氏 会場：土橋のおうち
8/5	原爆死没者慰霊盆踊り大会
9/19	第4回ふれあい講座「終活」 講師：(株)玉屋 社長 児玉賢司氏 会場：土橋のおうち
11/10、11/11	西本川 浜恵比須神社 秋季例大祭 亥の子祭り（11/11）
12/10	本川地区自主防災会連合会 防災訓練
1/28	本川地区女性連合会 新年互礼会
3/20	第5回ふれあい講座「転ばぬ先の杖」 講師：フランスベッド 埴晋哉氏 会場：土橋のおうち

B. 古田地域の活動への参加

実施日	内容
5月14日	古田町民運動会
9月3日	古田地区ふれあいひろば

(2) 講師派遣

A. 認知症サポーター養成講座 講師 竹中庸子

実施日	内容
6月28日	広島市立古田中学校
9月20日	たぬき倶楽部
1月18日、25日	ふれ愛・たすけ愛・プロジェクトC
3月4日	認知症サポーターステップアップ講座 「認知症サポーターとしてできること」
10/15、10/29、 12/28、1/14、2/25	ハチドリ舎 もう高齢社会だよ！ヤバイよシリーズ ①「基礎編」 ②「認知症との付き合い方編」 ③「人生90年時代のライフデザイン編」 ④「超具体的！介護の初期知識編」 ⑤オープンザ玉手箱浦島太郎体験」

B. その他 講師 竹中庸子

実施日	内容
5/9	本川地区女性連合会 本川フレッシュ教室 勉強会
6/11	広島県紅葉会のつどい（広島県退職女性職員の会）記念講演
10/31	広島文教女子大学 非常勤講師「認知症の理解Ⅱ」
10月～11月	第13回認知症ケア専門士認定試験 第2次試験審査員
11/28～29	デイサービスがつないだ地域包括ケア しんいち多世代で支えあうプロジェクト～このまちで笑顔で暮らしてつづけるために～ 福山市新市公民館
12/22	若年性認知症研修～支援の実際から見てきたもの～ 主催：広島市中区認知症地域支援推進員 岡田眞理氏
1/17	人事院中国事務局「生涯設計セミナー50」

2/3	広島市中区社会福祉協議会「地域防災・福祉フォーラム 2018」 —自分たちのまちは、自分たちで守る！— 『多世代のつながりと防災について』
2/24	一般財団法人日本総合研究所 「地域共生社会の実現に向けて」～地域の試みから学ぶプロセスとエッセンス～

#### 4) ボランティア・実習生・見学の受入

実施日	内容
9/1	日本建築学会
12/11	堀田總子氏 慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科教授
2/18	認知症サポーターステップアップ講座 見学 4 名
2/19	同 見学 2 名

一般ボランティアの受け入れ	デイサービス古田のおうち	年間	延 0 名
	グループホーム古田のおうち	年間	延 0 名
	デイサービス土橋のおうち	年間	延 9 7 名
	グループホーム土橋のおうち	年間	延 0 名

#### (5) 研修の受講

◎キャリアパス研修（内部研修・全職員必修） 平成 29 年度

法人共通のキャリアパス研修として各事業所のミーティング時に研修を行った。

実施月	内 容
4 月	『もちもちの木 法人テキスト』
5～6 月	コミュニケーション
7 月	認知症事例検討会 (G土橋、D古田から 1 例ずつ事例を出す)
8～9 月	個人情報（プライバシー）保護・虐待防止
10～11 月	地域コミュニティ支援事業に参加 創立 16 周年もちもちの木祭に参加
12～1 月	医療的ケア・医療連携
2 月	認知症事例検討会 (G古田、D土橋から 1 例ずつ事例を出す)

3月	介護保険制度（法人全体会議内で実施）
----	--------------------

◎法人内部研修（全体）

4事業所の看護師たちが自主的な勉強会をスタートさせ、医療的ケアのスキルアップと情報共有の場をつくることができた。

社会人基本マナー研修は大きな成果を上げ、法人のイメージアップに役立っている。

実施日	研修名	参加者
4/20	看護師勉強会（古田） ①皮膚のケア、浮腫のケア 他	5名
6/15	②巻き爪、帯状疱疹、フットケア 他	4名
9/21	③皮膚のケア伝達講習、排便コントロール 他	5名
11/30	④看護協会「高齢者の特徴的な病態と予測される変化」伝達講習、キャリアパス研修の準備	4名
4/5、5/3、6/14、 7/12、8/9、9/6、 10/4、11/1、 12/13、1/17、 2/7、3/7	介護学 もう一度基本のき（土橋）	延べ40名
11/20 古田	社会人基本マナー研修	28名
11/27 土橋	講師：野村直美 先生	11名

◎外部研修受講（全体）

実施日	研修名	参加者
6/27	若年性認知症の理解と支援…今、必要なこと。 主催：若年性認知症の本人・家族の地域生活支援を考える会	5名
6/30	「介護プロフェッショナルキャリア段位制度の内容とその狙い」 主催：広島県シルバーサービス振興会	3名
8/10	広島県夏季福祉大学「今、なぜ『地域共生社会』づくりなのか」 主催：広島県社協	1名
1/31	「介護報酬・診療報酬同時改定のポイント」	3名

	主催：広島県シルバーサービス振興会	
2/9	アセッサー講習会 フォローアップ研修 主催：広島県シルバーサービス振興会	1名
3/5	福祉系NPO団体のみなさん 井戸端会議 主催：市民福祉ネットワーク“ひろしま”、広島市社会福祉協議会	1名
3/22	広島市介護サービス事業者集団指導研修	2名
3/27	働き方改革推進のための採用×労務管理 主催：フクシマ社会保険労務士法人	1名
3/31	中区認知症カフェ交流会 主催：中区認知症地域支援推進員 岡田眞理氏	1名

## 6. 調査・研究協力

### \* 日本福祉教育・ボランティア学習学会 調査協力

研究紀要29号『シニアと共にコミュニティを拓く』

特集 実践研修「介護事業におけるコミュニティづくり

～地域の現在と未来を支える多世代交流～」

### \* 認知症カフェ参加者事例調査 寄稿 平成29年6月9日

日本医療研究開発機構（AMED） 認知症研究開発事業の分担研究として

認知症介護研究・研修大府センター（愛知県大府市）より

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

長寿医療研修センター研修開発研究室長 牧 陽子氏

## 7. 想いと活動の紹介 ～もちもちの木を知ってもらうために～

### （1）外部の方に向けて

#### \* 「まだ知らないの!?!なら一緒にディメチェンしよう！」

平成29年8月26日（土）19：00～20：30 広島総合福祉センター 参加者84名

認知症当事者が発足させた全国で3例目の認知症支援団体「たぬき倶楽部」（代表：竹内裕氏）のキックオフイベントを共同開催した。

\* マスコミ取材

- ・ ひろぎん経済研究所 月間「カレントひろしま」 平成 30 年 4 月号掲載
- ・ 中国新聞 「シェアハウス 老後の選択に」 平成 29 年 8 月 25 日掲載
- ・ 中国新聞 「認知症の支援団体 ためき倶楽部」 平成 29 年 8 月 26 日掲載

\* インターネットによる発信

- ・ Facebook ページ「もちもちの木」
- ・ 法人ニュースレター「もちもちの木 smile」
- ・ 平成 29 年 8 月号 2,000 部発行、平成 30 年冬号 3,000 部発行
- ・ 法人ホームページ <http://mochi2.wpblog.jp/>  
土橋・古田のホームページを法人ホームページに統合、改編した。
- ・ 庚午のおうちホームページ <http://kougomc2.wpblog.jp/>

\* もちもちの木まつり

平成 29 年 11 月 14 日

土橋町の西本川 浜恵比須神社のお祭りと亥の子祭り、土橋町内のカフェと協働でもちもちの木まつりを実施した。

内容 サックス&ピアノコンサート、古物市など

参加者（土橋のおうち来所者）46名

(2) スタッフに向けて

- ・ スタッフ向けメールマガジン「もちもちの木 実と根っこメール」の配信

## 8. 寄付・募金活動（ファンドレイジング）

1. 平成 28 年度 地域テーマ募金の事業（平成 29 年度事業分）

「はじめる 多世代 コミュニティプロジェクト」

事業費総額 3,634,944 円（うち共同募金助成額 1,360,946 円）

活動期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

\* 目的

世代の壁を越えたつながりを編みなおし新しいセーフティネットを構築する

#### \* 事業内容

多世代で地域文化を学び・伝え・つながり、住民同士のふれあいを通して、共に生きる心情を育む。

世代を超えたつながりを編成し、地域社会により強固なセーフティネットを構築する。地域住民と共に地域食堂やカフェ、ボランティア活動等を通じて共にすごし、共に楽しみ、共に考え、地域交流広場（土橋・古田・庚午）および市内の交流スペース等で多世代交流を広げる。

- ①戦前からの文化の継承（地域の高齢者の語り、技術、作法、地域の祭り等）
- ②高齢者・若年性認知症の方やひきこもり・ニートの青年の仕事場づくり
- ③多世代が暮すライフスタイルの再構築
- ④自治会・社協・公民館や行政、ボランティアグループ（多世代寺子屋・プロジェクトCなど）等と協働し、生活課題の焦点化と支援体制

#### 2. 平成29年度 共同募金への参加（平成30年度事業分）

「多世代コミュニティで子育て世代支援」

住民自らが地域資源を活用し、仲間と支え合い、子育て世代支援活動を通して多世代で共感できるコミュニティ形成を目指す。

#### \* 事業内容

- ・もちもちの木 オープンスペース「もちもちの子こご」
- ・古田ママの会（デイサービス古田のおうち）
- ・多世代寺子屋ネットワーク

\* 事業総予算額 468,000円 共同募金助成申請額351,000円

#### 3. ソーシャルグッドプラットフォーム [gooddo(グッドウ)]

平成29年4月～平成30年3月までの支援金総額 14,190円

NPO 団体等の活動支援と企業のマーケティング・広報活動を両立させて、ユーザーと企業が社会貢献できる機会を提供するインターネット上のプラットフォーム「gooddo」に参加した。

平成30年1月28日をもって1クリックで支援金を届けられる「応援ポイント」制度終了。